

平成28年度京都市いきいき市民活動センターに係る管理運営についての評価報告

平成29年10月

京都市市民活動センター評価委員会

平成28年度における京都市いきいき市民活動センターの管理運営に関し、下記のとおり評価を取りまとめたので公表する。

記

1 評価に当たって

(1) 評価委員会の設置目的

京都市市民活動センター評価委員会（以下「評価委員会」という。）は、京都市が設置した機関であり、京都市市民活動総合センター及び京都市いきいき市民活動センターの管理運営全般に関し、各種事業の実績等に基づいて客観的な評価を行い、課題の解決や改善すべき事項についての助言を行うことを目的の一つにしている。

当評価委員会は、平成15年度から京都市市民活動総合センターの施設運営全般についての評価を行ってきたが、平成23年4月に京都市いきいき市民活動センターが開所されたことに伴い、評価機能を京都市いきいき市民活動センターまで拡充するとともに名称を改めたものである。

(2) 京都市いきいき市民活動センターの役割

京都市いきいき市民活動センターは、市民公益活動はもとより、サークル活動など市民活動を幅広く支援していくため、既設の京都市市民活動総合センターを補完し、市民がいきいきと活動できる場所と機会を提供する施設として、平成23年4月に設置されたものである。

京都市いきいき市民活動センターでは、貸館の提供や市民活動の活性化に資する情報の提供を行うほか、地域や市民活動を活性化させるための仕掛けとして、指定管理者が独自にこれらに資する事業を企画・実施することとしている。

この市民活動活性化事業の対象となるものは、

- ・市民活動又は地域コミュニティの活性化を図るための事業
- ・市民活動を支援するための各種講座や研修会等

としており（市民活動活性化事業実施要綱第7条第1項）、

企画・実施については、可能な限り、地域や利用者等からの意見を取り入れながら行うものとし、将来的には企画段階から地域や利用者等の参加を促進する等、協働の取組により進めるものとしている（市民活動活性化事業実施要綱第4条第2項）。

(3) 評価について

ア 評価の基準

平成27～30年度の第2期指定管理期間の2年目となる平成28年度の各センターの活動について、「市民活動活性化事業」の取組内容に関する評価を行うとともに、センター運営に関して、「貸館事業」、「情報の発信」、「業務執行体制」に関する評価を行う。

評価項目	主な着眼点
市民活動活性化事業	○計画の具体性及び独創性 ○幅広い市民の交流を目的として、広く市民の参加が得られるよう努めているか。 ○地域、利用者及びNPOなど他団体との連携 ○事業の広報方法 ○利用者ニーズの把握及び次回事業への反映の方法
貸館事業	○貸館業務を適正に行っているか。 ○公金収納業務を適正に行っているか。
情報の発信	○情報の発信を積極的に行っているか。
業務執行体制	○施設の維持管理を適正に行っているか。 ○職員配置の適正性及び人材育成等 ○管理運営業務に係る経費の取扱い

イ 評価の参考とした資料等

① 市民活動活性化事業

計画された全事業を対象として、平成28年度第1回及び第2回評価委員会での各指定管理者の報告内容、事業実施計画書及び事業実施報告書を基に評価する。

② 貸館事業

京都市が実施した業務及び財務監査内容、実績報告書を基に評価する。

③ 情報の発信

実績報告書を基に評価する。

④ 業務執行体制

京都市が実施した業務及び財務監査内容を基に評価する。

なお、評価については、監査時点での業務執行に係るものである。

ウ 評価方法

各センターの評価に当たり、施設規模、地勢、交通利便性、人口構成、歴史的経過等の立地条件や指定管理者の特長等、施設管理運営上の条件がそれぞれ多様であることから、評価委員会による一律の評価軸で評価を行うことは困難であると判断し、センターごとに、評価項目について、文章による記述の評価を行う。

評価については、平成27年度評価を受けて28年度にどのように進展したかという点を踏まえ、センター運営の質の向上につながることを主眼に、評価できる事項、課題となる事項などについて意見を付すこととした。

また、現指定管理期間の今後約2年間の更なる取組の発展に向けて、各センターに対して、「平成29年度以降に向けた助言等」について記載した。

2 各センターの評価

(1) 北いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人くらしネット21）

ア 平成28年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民・団体を中心に、近隣の大学、センターの利用者に企画の段階から関わってもらよう呼びかけ、当日の参加だけでなく運営にも携わってもらえていることは、「市民の主体的な活動を支援する」というセンターの趣旨に合致している。 ・高齢者ふれあいサロンを、シニア層だけでなく、誰でも利用できるようによりオープンにし、子どもから高齢者まで、様々な世代が交流できる拠点に向けての取組みは評価できる。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用件数については、前年度と比較し増加した。 ・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。 ・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・施設案内パンフレットやホームページ、フェイスブック、ツイッターに加えて、プレスリリースを行いマスコミに掲載されたほか、ラジオ出演も行うなど、多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。 ・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 平成29年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を生かし、地域の方やセンターの使用者、様々な団体と積極的に交流・連携し、より多くの人を巻き込んで事業を展開していこうという姿勢は評価できる。引き続き、地域のイベントが、自立的、継続的に運営できるよう、幅広い団体との交流・連携に努め、事業を進めていただきたい。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸館事業については、継続的に利用している団体に加え、新規の団体利用の増加という点にも力を入れていただきたい。 ・情報の発信については、ホームページやSNSだけでなく、プレスリリースを行いマスコミに掲載されたほか、ラジオ出演も行うなど多様な媒体を活用していることは評価できる。

(2) 岡崎いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人音の風）

ア 平成28年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none">・いずれの事業も、指定管理者の得意分野・専門分野を活かしたレベルの高い事業であり、市民活動活性化事業の趣旨に合致している。・市民活性化事業を通して、地域の方や利用者との繋がりから、新たな団体やネットワークが形成されるなど好循環が生まれていることは評価できる。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none">・様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたことにより、前年度と比較し、施設の利用件数・利用時間ともに増加している。・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none">・施設案内パンフレットやホームページ、フェイスブック、ツイッターだけでなく、京都新聞「まちかど」や市民しんぶん区版にあげるなど多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。・二条通りに面したフェンスの掲示・配架用ボードに加え、新たにチラシのラックを設置し、通行する市民や観光客に向けてセンターや地域の情報発信を行っている。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none">・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 平成29年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none">・地域団体の活動の場であり、成長の場でもあるなど、効率よく運営されていることは評価できる。岡崎いきセンのこれまで培ってきたノウハウを他のいきセンと積極的に情報交換、共有し、良い影響が伝わっていくことを期待している。・これまでから得意分野・専門分野である音楽を活かしながらレベルの高い事業が実施されているが、音楽を軸に、他業界、他業種と関わることによって新たな事業が展開されていくことを期待している。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none">・情報の発信については、ホームページやSNSでの情報発信・更新頻度・デザイン性が高く、常に最新の情報提供が行われているだけでなく、チラシのラックを新設するなどより広域的に情報を発信しようという取組は評価できる。

(3) 左京東部いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人劇研）

ア 平成28年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に続き盆踊り大会を地域の各種団体と連携して取組を進め、年齢や国籍、地域を越えて多数の参加者を集めて開催され、多世代交流、地域内外の交流を深められたことは、市民活動活性化事業の趣旨に合致している。 ・上述の事業以外にも、センター利用者同士が交流する会をきっかけに他のイベントへの参加が生まれるなど利用者や地域の交流を深める事業を実施している。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたことより、前年度に引き続き大幅に増加している。 ・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。 ・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・施設案内パンフレットやフェイスブックを充実させるとともに、ホームページを一新するなど、情報の発信について随時検証を行いながら、改善に取り組んでいる点は評価できる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理及び職員の配置については、概ね問題なく行われている。 ・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 平成29年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業のうち、盆踊りは前年度の反省を踏まえ、地域の各種団体と連携して取組を進めるなど、年齢や国籍、地域を越えて多数の参加者を集めて開催され、市民活動活性化事業の趣旨に合致した取組になっている。 ・左京西部と同じ指定管理者ということもあり、同じような事業となってしまう難しい部分はあると思うが、地域に応じた工夫を行い、左京西部とは違った新たな取組を進めてほしい。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信については、フェイスブックでの情報発信・更新頻度は高く、また、ホームページを一新するなど、随時検証を行いながら、改善している点を評価するとともに、更に多様な媒体を活用することにより、より多くの方に情報が届くことを期待する。
--

(4) 左京西部いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人劇研）

ア 平成28年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・例年取り組んでいる高齢者向け事業を今年度も継続して実施し、専門分野である演劇を活かしてシニア向けの演劇講座を行うなど、より発展した事業を行っていることは評価できる。 ・上述の事業以外にも、地域の団体や保育所と連携した事業など、実施している事業はいずれも市民活動活性化事業の趣旨に合致したものとなっている。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたことより、前年度と比較し増加している。 ・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。 ・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・施設案内パンフレット、広報誌「いきいき通信」、ホームページ、フェイスブック、ツイッターなど、多様な媒体を活用した情報発信に取り組むとともに、随時検証を行いながら、その改善に取り組んでいる点は評価できる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理及び職員の配置については、概ね問題なく行われている。 ・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っているが、これまでの経験を活かし、施設の魅力をより高める分野への経費執行にも期待したい。

イ 平成29年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の助言を受けて、学生など、若者と連携するためのきっかけづくりを行っており、これからも学生など若者を巻き込んだ取組を行いながら、新しい担い手づくりの育成を意識した後方支援的な取組を積極的に進めていくことで、より進化した展開を期待するとともに、様々な世代の人が交流できる多世代交流の場を増やすことにも努められたい。 ・引き続き、左京東部いきいき市民活動センターをはじめ、他のいきいき市民活動センターとの連携を進めることにより、いきいき市民活動センター全体の底上げを図っていただきたい。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信については、フェイスブックやツイッターでの情報発信・更新頻度は高く、また、広報誌も定期的に発行するとともに、ホームページにも掲載しており、今後も継続した取組を期待する。

(5) 中京いきいき市民活動センター（指定管理者：一般財団法人京都府部落解放推進協会）

ア 平成28年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none">・地域住民，地域団体，センター利用者，近隣の高校など様々な方々と交流・連携しながら，多彩な事業が行われていることは評価できる。・また盆踊り大会や発表会など地域住民同士やセンター利用者同士などの新たな交流が生まれているという取組は，「市民の主体的な活動を支援する」というセンターの趣旨に合致している。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none">・施設の利用件数については，様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動により，前年度と比較し増加している。・利用者の満足度は，来館者に対する窓口サービス調査の結果，概ね良好であるが，改善の余地はある。・公金収納業務については，会計検査等で若干の不備は指摘したが，概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none">・施設案内パンフレットやホームページなどを活用した情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none">・施設の維持管理及び職員の配置については，概ね問題なく行われている。・収支状況については，管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っているが，これまでの経験を活かし，施設の魅力をより高める分野への経費執行にも期待したい。

イ 平成29年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none">・今後も，企画段階から地域団体と連携し，市民活動の活性化や市民活動のきっかけづくりに取り組むことにより，まだセンターを利用していない方にも広がりを持つような取組を進めていただきたい。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none">・情報の発信については，多様な媒体を活用して最新の情報を発信することを期待する。

(6) 東山いきいき市民活動センター（指定管理者：有限責任事業組合まちとしごと総合研究所）

ア 平成28年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化事業を通して、地域住民やセンター利用者と協働し、センターの改善点やあり方を検討するなど地域を巻き込みながら様々な事業に取り組まれていることは評価できる。 ・今後は、交通の利便性が高く、利用者も多い施設であることから、市民活動活性化事業の実施に当たっては、より幅広い年齢層の参加を促す取組となるよう工夫していただきたい。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたが、前年度と比較し減少した。 ・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。 ・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・施設案内パンフレット、ホームページ、フェイスブック、ツイッターなど、多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。 ・また新聞社など紙媒体を使った情報発信や掲示板の刷新・チラシ設置場所の増設など既存のものを積極的に改善し、より発信力を高める取組を実施している点は評価できる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。 ・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 平成29年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでからも地域住民やセンター利用者と共に地域の課題に目を向ける取組を行っており、引き続き、地域の結びつきを強める取組を進めてほしい。 ・得意分野であるメディアを活かし、幅広い層を巻き込みながら、地域の活性化を図るとともに、その他の分野においても地域活性化にむけた取組・事業が行われることを期待している。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸館事業については、交通の利便性が非常に高く、市内一円からの利用が見込まれる場所に立地しており、市民の利用ニーズは高いと思われるので、センターの周知に努め、早急に利用件数の増加に力を入れていただきたい。 ・情報の発信については、フェイスブックやツイッターの情報発信・更新頻度は高く、常に最新の情報提供が行われており、継続した取組を期待する。また高齢者層を含めた幅広い層に市民活動活性化事業への参加を促す広報の仕方やアプローチなど、より効果的な情報発信に期待する。
--

(7) 下京いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人崇仁まちづくりの会）

ア 平成28年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	・以前から地域団体や市民活動総合センター、下京青少年活動センターなど各種団体と連携しているのに加え、市立芸術大学の移転を控え、芸大の学生と協力・連携して取組を行っていることは評価できる。
貸館事業	・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたが、前年度と比較しほとんど増減はなかったが、僅かながら減少している。 ・利用者の満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好であるが、改善の余地がある。 ・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	・施設案内パンフレットやホームページなどを活用しているほか、インターネットの広告掲示板の活用やFMラジオ京都へ出演など、情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。 ・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 平成29年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none">・今後も、地域団体や市民活動総合センター、下京青少年活動センターなど各種団体と連携し、周辺も含めた地域全体の発展に向けた取組についても進めていただくとともに、移転を控えた市立芸術大学との連携により、学生など若者を巻き込んだ取組に期待する。・市立芸術大学移転後スムーズに交流できるように、大学とうまく交流している他のセンターのノウハウを吸収し、準備を進めてほしい。・また、交通の利便性が非常に高く、地域住民以外にも多くの人の流れのある立地条件を活かし、国際交流など、広い視野、新しい発想をもった事業の展開を期待する。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none">・情報の発信については、多様な媒体を活用して最新の情報を発信されることを期待する。また、市民活動活性化事業への参加を促す広報の仕方において、チラシやポスターの刷新を行うなど、より効果的な情報発信に期待する。
--

(8) 吉祥院いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人ふれあい吉祥院ネットワーク）

ア 平成28年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none">・「吉祥院ふれあいジャンボリー」や「ふれあいひろば」では、地域住民や地域団体、センター利用者同士の交流が深まり、市民活動活性化事業の趣旨に合致している。・また活性化事業を通して、地域の課題を見つけ、その解決に向けて活動していることは評価できる。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none">・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動により、前年度と比較し増加している。・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none">・施設案内パンフレットやホームページ、SNSなどを活用しているほか、広報紙「いきセンだより」を発行し、情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none">・施設の維持管理及び職員の配置については、概ね問題なく行われている。・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 平成29年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none">・これまでの指定管理者としての経験とこれまでに築き上げた地域との繋がりを活かし、六斎念仏を含む新しい地域の担い手づくりを意識した後方支援的な取組を進めていくなど、新たな展開を期待する。
<p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none">・情報の発信については、広報誌を定期的に発行しており、今後は、多様な媒体を活用してより多くの方に情報が届くことを期待する。

(9) 上鳥羽北部いきいき市民活動センター（指定管理者：京都市中唐戸児童館運営委員会）

ア 平成28年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none">・エコ学区として認定されている上鳥羽学区に立地していることから、環境にやさしい取組を地域に広める中核施設として、地域内外の団体と連携して、エコの視点を加えた多彩な事業を年間を通して展開されていることは評価できる。・従来の取組に加え、新たに「いきいき絵本クラブ」を立ち上げるなど、事業に広がりが見られる。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none">・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたが、前年度と比較し僅かながら減少している。・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none">・施設案内パンフレットやホームページ、広報誌「ニュースレター」による情報発信に加え、フェイスブックによる情報発信も始められている。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none">・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 平成29年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none">・エコを中心とした従来の事業だけでなく、新たな事業が展開されたことは評価できる。今後も、「エコ」をキーワードにして他の分野の団体や地域団体との交流など横のつながりを幅広く広げていくことを期待する。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none">・情報の発信については、ホームページや広報誌「ニュースレター」に加え、新たにフェイスブックを開設されたことは評価でき、今後も、多様な媒体を活用して発信されることを期待する。
--

(10) 上鳥羽南部いきいき市民活動センター（指定管理者：株式会社丸起）

ア 平成28年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none">・交通利便性等の立地条件に制約があるなかで、児童館や保育所、小・中学校等と協力・連携しながら、地域密着型の事業に取り組み、活動の幅を広げていることは評価できる。・センターが実施する事業からサークル活動呼び込み、支援し、自主的な活動につなげていくという取組は、「市民の主体的な活動を支援する」というセンターの趣旨に合致している。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none">・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動により、前年度と比較し増加している。・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none">・施設案内パンフレットやホームページなどに加え、フェイスブックによる情報発信も始めている。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none">・施設の維持管理及び職員の配置については、概ね問題なく行われている。・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っているが、これまでの経験を活かし、施設の魅力をより高める分野への経費執行にも期待したい。

イ 平成29年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none">・児童館や保育所、小・中学校等と協力・連携することに加え、今後は企画段階から地域やNPO団体等と連携を図りながら事業を展開していくよう努めるとともに、センターの認知度を高めることについても尽力されたい。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none">・情報の発信については、施設案内パンフレットやホームページに加え、新たにフェイスブックを開設したことは評価でき、今後も、多様な媒体を活用して発信することを期待する。

(11) 久世いきいき市民活動センター（指定管理者：地域環境整備みどりの会）

ア 平成28年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none">・児童館や保育所と連携するなど、年間を通じて様々な事業が展開されていることは評価できる。・また従来の取組に加え、新たに「いきセン利用者発表会」「音楽鑑賞会」を行うなど、事業に広がりが見られる。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none">・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたが、前年と比較し僅かながら減少している。・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none">・施設案内パンフレットやホームページなどを活用した情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none">・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 平成29年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none">・事業の実施に当たっては、地域がもつ課題の解決に向けて、企画段階からNPO団体や地域住民との連携を図りながら、若者など新たな参加者を取り込む事業を進めていただくとともに、市民活動の支援に精通した人材の育成に努められたい。・事業を実施するにあたり、ターゲットを絞り、例えば若者だけの事業をするなど、思い切った事業が行われることを期待する。・アンケートを活用するなどして、センター自体のあり方についても利用者の意見を取り入れていただきたい。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none">・貸館事業については、交通利便性等の立地条件に制約があり、地域外からの利用が難しい状況にあるが、地域を中心にセンターの周知に努めていただくことにより、利用件数の増加に力を入れていただきたい。・情報の発信については、ホームページにて、事業の開催案内及び開催結果を適宜発信されており、今後は、ツイッターやフェイスブック等のSNSを活用するなど、多様な媒体を使い、貸館利用の増加も含めた地域の活性化に繋がるような情報発信に期待する。
--

(12) 醍醐いきいき市民活動センター（指定管理者：株式会社ワン・ワールド）

ア 平成28年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none">・活性化事業から新たなサークルが立ち上がり、そのサークルがセンターを利用するという好循環が生まれるなど、市民の主体的な活動を支援するという市民活動活性化事業の趣旨に合致しており、また事業自体の完成度も高く、他のセンターのモデル事例にもなりうる取組となっている。・従来からの取組だけではなく、新たに「カフェするところ」事業などの取組を展開しており、より積極的に事業を展開しようと努めていることは評価できる。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none">・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動により、前年度と比較し増加している。・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none">・施設案内パンフレットや広報誌「だいがいきいきタイムズ」、ホームページ、フェイスブックなど、多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none">・施設の維持管理及び職員の配置については、概ね問題なく行われている。・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っているが、これまでの経験を活かし、施設の魅力をより高める分野への経費執行にも期待したい。

イ 平成29年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none">・醍醐支所や地域団体等と連携を取りながら、地域のニーズの把握や課題の解決に努め、地域を支える・寄り添う施設を目指すとともに、引き続き、他のセンターのモデル事例になりうる取組が展開されていくことを期待している。
<p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none">・情報の発信については、ホームページやフェイスブックでの情報発信・更新頻度は高く、常に最新の情報提供が行われており、今後も継続した取組を期待する。

(13) 伏見いきいき市民活動センター（指定管理者：有限責任事業組合まちとしごと総合研究所）

ア 平成28年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題の把握に努めたうえで、高齢者の孤独化や子どもの貧困問題など、地域の重要な課題に対して積極的に取り組んでいることは大いに評価できる。 ・大学生と連携しながら、事業を行うとともに、地域の新たな担い手づくりとして、大学生を含む若者の市民活動を支援するなど、将来的にも継続、維持できるような取組が行われていることも評価できる。 ・若者から高齢者まで幅広い層を対象に、多種多様な事業が行われており、他のセンターのモデルとなるような一歩先に進んだ取組となっている。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたが、前年度と比較し僅かながら減少した。 ・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。 ・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・施設案内パンフレットやホームページ、フェイスブック、ツイッターなどに加え、新たに掲示板を設置するなど、情報の受け手に合わせた多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。 ・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 平成29年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者との関わりを対利用の関係だけでなく、利用者とNPOを繋げるなどの中間支援や地域の中で存在感を示せるような地域活動の担い手を育てることに努めていただきたい。 ・引き続き、大学生の活用や、区役所・地域団体等との連携を図りながら、子どもの貧困や、高齢者の孤独化など地域が抱える問題に目を向け、地域を支える取組を進めていただくとともに、若者から高齢者まで幅広い層を対象に、多種多様な事業を行い、他のセンターのモデル事例になりうる、より先進的な取組が展開されていくことを期待している。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信については、フェイスブックやツイッターでの情報発信・更新頻度は高く、常に最新の情報提供が行われており、継続した取組を期待する。

3 まとめ

(1) 施設の利用状況について

いきいき市民活動センター（以下「センター」という。）は、平成23年度の開設から6年目となり、この間、各センターでは、施設案内パンフレットやホームページ、各種SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用した情報の発信、市民活動に資する情報の提供、市民活動活性化事業の実施など、指定管理者の特長や地域性に応じた独自の活動に積極的に取り組んできた。

その結果、貸館利用件数は、開設以来、年々増加しており、平成28年度の件数は、センター転用前の平成22年度と比較すると、約3.8倍と大幅に増加している。

これは、市民活動やコミュニティ活動の場を求めている市民ニーズとセンターの設置趣旨が合致したこと、また、センターが市民活動の拠点となる施設として多くの利用者から認知されつつある結果であり、市民活動を幅広く支援していくという当初の目的は達成できつつあると考えられる。

ただし、増加率は少しずつ減少してきており、センターの中には利用件数が減少しているところもある。このことからセンターとして、新たな展開が必要な時期に差し掛かっていると考えられるため、今後は、従来行ってきた情報発信や市民活動活性化事業の見直しを行いながら、より積極的な事業が展開されることを期待している。また、利用件数の増加に向けて、利用が少ない曜日や時間帯の利用を促進するなど、効率的な稼働ができるよう、新たな層やニーズを発掘する試みにも努めてもらいたい。

(2) 管理運営全般に対する評価及び助言について

各センターにおいては、「2 各センターの評価」のとおり、各センターが継続して発展していくための改善や工夫・充実を期待する。

第2期指定管理期間の2年目となる平成28年度は、平成27年度に引き続き「おさんぽコレクション」を通じたいきいき市民活動センター間の連携が図られたほか、「合同研修会」を通じた市民活動総合センターとの連携が図られるなど、各センター同士の連携が深まった。

指定管理期間の3年目となる平成29年度については、引き続き、利用者のニーズや地域の実情把握等に努めながら、指定管理者の特長やこれまでに蓄積されたノウハウを活かし、市民活動を幅広く支援していくという目的のもと、施設のコネクトである地域や施設利用者との「交流」・「協働」を通じ、それぞれが特色ある施設へと更に「進化」することを目指し、以下の項目について重点的に取り組んでいただきたい。

ア 全般について

各センターの取組について、地域住民に対するサービスの提供にとどまるのではなく、「市民の主体的な活動を支援する」ことがセンターの役割であることを常に念頭に置きながら、各センターの強みを生かし、それぞれが抱える地域の課題解決に向けた事業の実施や施設の管理運営に臨んでいただきたい。

また、各センターが地域とつながり、交流・協働の取組を行っていくうえで、市民の身近な存在である区役所・支所との連携が、地域ニーズの把握や課題の解決にも結び付くことから、今後は、区役所・支所との連携についても積極的に進めていただきたい。

イ 市民活動活性化事業について

市民活動の更なる活性化に向けて、次の4点に留意し取り組んでいただきたい。

- ① 事業の実施に当たり、企画段階から、センター利用者、地域の各種団体、事業所、NPO、大学、区役所・支所等の他団体との連携を図るなど、各センターが得意分野を軸としながら、多様な団体とのネットワークを構築することで、市民活動の基盤や土壌を広げていくことを期待する。
- ② 各センターや市民活動総合センターとの交流・連携を更に積極的に進め、事業を実施するうえでの経験や知識の共有を図ることにより、新たな視点からの事業の展開や事業の質の向上、人材の育成などに取り組んでいただくことを期待する。
- ③ 例年実施する大規模なイベントについても、イベント当日に多くの参加者を得るだけでなく、参加者同士の新たなつながりや、そこから自主的な市民活動につながっていくような展開を意識した「育成」や「支援」の取組、新しい担い手づくりの育成を意識した後方支援的な取組を進めていただきたい。
- ④ 事業の実施後は、参加者アンケートや振り返りを行い、利用者ニーズの把握や効果的な事業の実施につながるようにしていただきたい。

ウ 情報の発信について

施設案内パンフレット及びホームページによる情報発信だけでなく、広報誌、掲示板、回覧板、各種SNSなど多様な媒体を積極的に活用することで、より多くの方に情報が届くよう努めるとともに、発信内容についても、更新頻度を高めていただき、常に最新の情報を提供することを心掛けていただきたい。

チラシやポスターなど印刷物の作成にあたっては、みやこユニバーサルデザイン等を参考に、誰にでも見やすい印刷物にするとともに、デザインの工夫をすることも心掛けていただきたい。また、事業を実施するにあたっては、それぞれの事業のターゲット層に合わせて、発信の仕方を変えるなど、より効果的な情報発信を行っていただきたい。

また、市民活動総合センターのホームページにも各いきいき市民活動センターを紹介するページが作成されたが、単なる施設紹介にとどまらず、情報発信面での連携の強化を図るとともに、効果的な発信方法についても検討していただきたい。

エ 業務執行体制について

業務及び財務監査の指摘を踏まえ、特に次の2点について確実な実施を求めるものである。

- ① 公金収納業務については、概ね適正に行われているが、処理のミスが一部見受けられたため、複数による照合とマニュアル等を確認するなど、丁寧・確実な処理に努めていただきたい。
- ② 職員の配置については、概ね問題なく行われているが、引き続き、執行体制の遵守を徹底していただきたい。

また、指定管理者は、施設管理運営の適格性があるものとして選定されていることを自覚のうえ、協定・仕様書を遵守し、必要な改善を行い、遺漏のないよう確実に取り組んでいただきたい。

なお、京都市は、今後も継続して監査を実施し、適正な業務や管理が維持されるよう指導していく必要がある。

オ その他

環境への負荷の少ない持続可能なまち「環境共生型都市・京都」の実現に向けて取り組んでいる京都市の地域における最前線の公の施設として、各センターの管理運営に当たっては、エネルギー使用の削減や環境配慮品の購入、ごみの減量・リサイクルの推進など、環境に配慮した取組を積極的に推進していただきたい。

また、イベント等の開催に当たっては、京都市の「エコイベント」として登録して実施するように努めていただきたい。

4 評価委員

吉田 忠彦（近畿大学経営学部経営学科教授）＜委員長＞

中井 歩（京都産業大学法学部教授）＜副委員長＞

伊豆田 千加（特定非営利活動法人子育ては親育て・みのりのもり劇場理事長）

岡 仁美（市民公募委員）

重野 亜久里（特定非営利活動法人多文化共生センターきょうと代表）

土江田 雅史（公認会計士）

5 開催経過

（1）平成29年度第1回

日時 平成29年6月7日（水）

場所 東山いきいき市民活動センター

内容 平成28年度いきいき市民活動センター市民活動活性化事業の報告

（2）平成29年度第2回

日時 平成29年7月3日（月）

場所 京都市市民活動総合センター

内容 平成28年度いきいき市民活動センター市民活動活性化事業の報告
平成28年度市民活動総合センターの事業報告

（3）平成29年度第3回

日時 平成29年8月2日（水）

場所 北いきいき市民活動センター

内容 平成28年度いきいき市民活動センター評価報告案の検討
楽只市営住宅団地再生事業について

（4）平成29年度第4回

日時 平成29年9月1日（金）

場所 京都市市民活動総合センター

内容 平成28年度いきいき市民活動センター評価報告案の検討
平成28年度市民活動総合センター評価報告案の検討について
楽只市営住宅団地再生事業に伴う北いきいき市民活動センターの再整備に係る検討依頼

＜参 考＞ 平成28年度市民活動活性化事業一覧

センター	事業	内容
北	高齢者ふれあいサロン 活性化プロジェクト	市民活動団体等と連携し、高齢者ふれあいサロンが多世代交流や居場所、生きがいをづくりの空間となることを目指し、サロンの活用方法を考えるワークショップを実施する。また、ワークショップで出されたアイデアを基に、市民が企画する事業を実施する。
	楽し夏まつり2016	地域団体や利用団体、NPO、大学等様々な団体に呼びかけ、共同で企画・実施する夏まつりを開催することで、学区内外の交流を促進し、活気ある地域づくりに繋げる。今年度は、伝統的な盆踊りを現代風アレンジを加え、祭りの中心にすることで、地域の伝統や郷土愛を共有する。
	盆踊りで地域・市民交流	地域の盆踊り「江州音頭」を次世代へ継承するため、昨年度「江州音頭」を復活させた左京東部いきセンやセンター利用団体とも協力し、夏まつりに向けて「江州音頭」の練習会を開催することで、地域や世代間の交流を促進する。
	「誰もが生きやすいまちを目指して」第5回市民活動交流会	様々な課題に取り組む市民団体や地域団体、NPO等に呼びかけ、それぞれの立場での具体事例の発表やワークショップ等を通して、相互理解、連携・協働、新しい活動のきっかけ作りを目指す交流会を開催する。 今回は、「誰もが生きやすいまちを目指して」をテーマに実施する。
	京都おさんぽ コレクション(北・左京 西部いきセン編)	13センターが連携し、6つのコースを巡るまち歩き。 テーマ:「耳をすまして京さんぽ ～歩いて感じる音環境～」 普段何気なく聞こえてくる「音」に耳をすまし、ふと立ちどまったりしながら、いつもとはちがう散歩をする「音」をテーマにしたまち歩き
岡崎	アートパフォーマンス in OKAZAKI	センターの前庭「音の庭」に舞台を作り、センター利用者や様々な団体が日頃の成果を発表できるイベントを開催することで、岡崎地区の賑わいの創出や地域の交流促進を図る。
	大学生連携事業「岡崎 ガーデン倶楽部プロジ ェクトII」	大学生や利用者、地域住民と共にワークショップ形式でセンター周辺のランドスケープ(景観等)について考え、地域にとって居心地の良い空間を作る。 ①壁面塗替えワークショップ、②ガーデン倶楽部の運営及び報告会、③アートパフォーマンス in OKAZAKI、④活動リーフレットの作成
	レコード楽譜図書館V	市民の方々に寄贈いただいた楽譜やレコードを使用し、市民企画によるレコードを聴く会や、他のいきいき市民活動センターとも連携した事業も実施する。

岡崎	中高年のためのピアノサロン	中高年を対象に、ピアノを通じて、仲間・居場所づくりの場を創出するとともに、生きがいとして音楽を楽しんで修得してもらいながら、ボランティア活動など市民活動に繋げていく。
	ロームで歌おう～ポップス編・ゴスペル編～	合唱を通して参加者同士の交流を作るとともに、ロームシアター京都で市民が中心となり市民のためのコンサートを開催する。岡崎魅力づくり推進協議会と連携し、「京都岡崎ハレ舞台」のコラボ企画として実施する。 ①ポップス練習, ②ゴスペル練習, ③コンサート
	市民活動グループ育成プログラムⅠ	センター利用団体の活動の活性化を図るための事業を実施する。 ①チラシ制作初級講座, ②左京区民ふれあい祭りへの参加, ③サークル紹介月間
	京の七夕 コミュニティステージ	平成 28 年度から「京の七夕」が岡崎エリアにも追加され、岡崎全体で京の七夕を盛り上げるイベントが開催される。センターでも、地域団体や利用者と連携し、音楽・パフォーマンスイベントを行う。
	市民活動支援事業「市民活動グループ育成プログラムⅡ だいき写真部 in Okazaki	醍醐いきセンと連携し、参加者が撮影技術を学び、自らの活動を周知する能力を身につけることにより、自身の活動の発展に繋げる事業を実施する。
	岡崎歌声クラブ～ロームシアターで歌おう	地域の中高年を対象に、歌唱を通じた健康づくりや相互交流を促す。今年度は参加者の意識向上を促すため、ロームシアター京都での発表会を行う。
	レコード楽譜図書館Ⅵ	市民の方々に寄贈いただいた楽譜やレコードを使用し、市民企画によるレコードを聴く会や、他のいきいき市民活動センターとも連携した事業も実施する。
	わいわい文化祭	自治連合会と共同して、歌や踊りの発表など地域の文化祭を実施することで、地域の輪を広げ、絆を深くする。今回はロームシアター京都で実施することにより他地域からの関心を誘い、岡崎地域の更なる発展に寄与する。
	文化芸術交流・連携事業「必殺裏方音楽人」	地域での音楽イベント等で必要な音響に関する知識をピアノを使って身につける講座を実施することによって、地域事業を支える人材を育成する。
左京東部	復活！錦林盆踊り大会 2016	以前は地域で大変な盛り上がりを見せていた盆踊りを、地域の高齢者や若い世代、ミュージシャン等が連携して盆踊り大会を復活させ、地域住民と参加者等との連携を深める。
	地域活動の担い手育成プロジェクト「盆踊り練習会とさきょーラ音楽会」	地域貢献型の地域楽団の育成を通じて、盆踊り大会など地域行事を支えるボランティアとして活躍してもらうことで、世代間交流の担い手づくりや、地域活動参加へのきっかけづくりを行う。①盆踊り練習会, ②音楽会「さきょーラ冬の文化祭」

左京東部	高齢者との交流プロジェクト「まちの思い出展示会」	話を共感的に受け入れる姿勢で傾聴する回想法を用いて、主に高齢者の方に思い出話を聞き、エピソードや写真のパネル展示や、思い出の地をまとめた地図を作成する。
	京都おさんぽコレクション (左京東部・醍醐いきセン編)	13センターが連携し、6つのコースを巡るまち歩き。 テーマ:「思い出のまちめぐり 錦林-醍醐」 場所にまつわる「思い出」を地域に暮らした方々に語っていただきながら、昔のまちの様子に思いをめぐらすまち歩き
左京西部	地域住民及び多世代交流促進事業	音楽を通じて異世代・異文化交流を行うことで、センター利用者、保育所・地域が楽しく交流できる場を作る。 ①さきよーラ音楽会 音頭で遊ぼう、 ②夕涼み音楽会と盆踊り
	地域の子供たちとの交流事業	保育所と連携し、音楽や踊りを通じて子供達が様々な世代や人々と交流できるような事業を実施する。 ①楽器作りワークショップ、②音楽演奏会、③音楽や踊りの練習会
	高齢者との交流プロジェクト「モノが語る わたしの昭和20年展」	語り手と聴き手を募集して、主に高齢者の方に「昭和20年」をテーマにした思い出話を聞き、エピソードや写真のパネル展示、冊子の作成を行う。
中京	あかしやふれあい盆踊り大会	盆踊りや近隣高校ダンス部による披露、施設利用者等の発表などを通して、地域と参加団体との交流・親睦を深め、各種団体の活動の活性化に繋げる。
	交流事業 中京から広めよう「ザ・イドバタカイギ」	NPOや市民活動団体の協力を得て、物作りをしながら初対面でも気軽に話ができる雰囲気をつくり、参加者全員が交流する機会を創出する。
	中京コレクション 冬のいきセン発表会	センター利用者や市民活動団体が日頃の活動の紹介や成果を披露する発表会を行うことで、団体支援や団体同士の意見交換や交流の場を創出する。
	交流事業 餅つきのつどい〜日本の食文化に触れる〜	地域の高齢者や地域団体から指導を受けながら、センター利用者や高校生とともに餅つきや餅料理を学び、日本の伝統的な食文化を通して世代間交流を図る。
東山	公共空間Reモデルプロジェクト	地域住民やセンター利用者との意見交換を進めながら、よりよい公共施設のあり方を考える。 ①館内誘導サインの設置、②コミュニティガーデンの整備、③東山ミライミーティングの開催
	まちの魅力再発見&発信プロジェクト	地域住民への聞き取り調査等により、地域に根ざした歴史や文化など地域の魅力の掘り起しを行うとともに、地域課題や住民の思いを顕在化させ、多様なメディアを通して地域の魅力を発信する。 ①聞き取り調査及び地域の絵屏風作り、②ソーシャルシネマダイアログ、③情報リテラシー入門講座

東山	まちの誰もがセンセイに！みんなの学校ごっこ in 東山)	多様な人や情報が飛び交う、地域に開かれたセンターづくりを目的に、ユニークな知識や経験を持つ市民を先生として、様々なテーマの教室を開き、学び合いの学校を作る。
	京都おさんぽコレクション(中京・東山いきセン編)	13センターが連携し、6つのコースを巡るまち歩き。 テーマ：「歴史・文化・近代建築・食…etc 三条通の魅力が1日で分かる?! 4つの商店街をめぐる魅力発見まちあるき「GO!GO!三条通」 市内を東西に貫く三条通の周辺にある4つの商店街を巡りながら、三条通の魅力を発見するまち歩き
下京	楽市・洛座「京の名店グルメフェア」～祝・芸大がやってくる!～	市立芸術大学の移転が予定される崇仁地域や下京区全体のまちづくりの機運を高めることを目指し、市立芸術大学や京都の料理店、下京青少年活動センター等近隣施設、センター利用者が連携して、グルメフェアを実施する。
	楽市・洛座「春まつり」	まちづくりの一環で復元された鉦の巡行を、地域の各種団体や近隣施設、ボランティア等と連携しながら実施することにより、地域の活性化を図る。
	楽市・洛座「夏まつり」	地域各種団体やセンター利用者による模擬店やフリーマーケット、演奏会など「夏まつり」を行うことにより、地域連携・交流を促進する。
	秋の自然を探そう～写生で残そう～	市立芸術大学や下京青少年活動センターと連携し、学生や大人から子供まで幅広い世代が交流しながら、梅小路公園で自然にふれ、写生を通じて植物や生き物の新しい発見を感じてもらう。
	文化祭	市民活動団体や小学校、児童館、施設利用者等の活動成果や、地域のまちづくり活動の発表の場を作る。
	京都おさんぽコレクション(岡崎・下京いきセン編)	13センターが連携し、6つのコースを巡るまち歩き。 テーマ：「高瀬川に沿って、幕末・戦国と京のかくれた歴史を新探検」 歴史に詳しい案内人と語りながら、ガイドブックや歴史書にもない、かくれた歴史スポットを見つけるまち歩き
吉祥院	夏休み六斎工作教室	地域の伝統芸能「六斎念仏」の保存継承を図るための取組を実施する。 ①六斎念仏の歴史に関する講座、太鼓・笛などの実演、②六斎念仏に関する工作教室
	吉祥院ふれあいジャンボリー2016	地域団体が連携して実行委員会を作り、各種団体の活動発表やステージ、模擬店などを実施するフェスタを開催することにより、地域の交流やネットワークの構築を図る。
	第4回ふれあいひろば	センター利用団体等が日々の取組や活動を発表する展示ブースやステージ公演、ワークショップ等を実施することで、団体同士の交流を図り、活動の幅を広げる。

吉祥院	京都おさんぽ コレクション (吉祥院・上鳥羽北部・上鳥羽南部いきセン編)	13センターが連携し、6つのコースを巡るまち歩き。 テーマ：「歴史街道まちあるき第2弾」 京都のランドマーク東寺を中心に、上鳥羽・吉祥院地域の伝統文化・歴史・特産品を探るまち歩き
上鳥羽北部	エコ講座第2弾グリーンカーテン講習会Ⅱ	エコ活動をしているNPOや団体等とグリーンカーテンの講習会を開催し、環境に優しい地域づくりの担い手を育成する。
	上鳥羽夏の夜市	地域の各種団体が連携し、模擬店や各種行事を行うことで、住民相互の交流の場を作り、近隣住民を巻き込んだ活性化を目指す。
	上鳥羽ミュージックサロン	音楽を聴きながら、参加者が音楽や地域のことなどを自由に語り合える場を提供することにより、参加者同士の交流や輪を広げ、今後の活動のきっかけづくりに繋げるとともに、センターの認知度も高める。
	エコ講座第2弾 防災のお話と手づくり防災ずきんの講座	地域女性会や消防署と連携し、リサイクルと防災に興味・関心を持ってもらう講座を開催する。
	エコ講座第2弾 畑中さんのエコ・クッキング講座	京エコサポーターを講師に迎え、普段の家事に取り入れることができるエコな調理法等を学ぶとともに、参加者同士の交流会を開催することで、エコを身近に考えてもらうきっかけ作りを行う。
	いきいき絵本クラブ	絵本を通じて参加者同士が交流を深める場を創出するとともに、児童館や保育園などで絵本の読み聞かせ会パネルシアターの上映を行うなど、参加者の活動の場を広げる。
	ハッピークリスマスの集い	児童館と連携し、利用団体や地域で活動されているNPOやサークル、各種団体等による発表会を開催することで、参加者同士の交流を図る。
	春待ち文化祭～楽しむ！つながる！体験する！～	センターで実施している「かるた塾」による百人一首体験をはじめ、ダンスやトールペイントなど体験参加型の文化祭を開催することで、出会いやつながりの場を創出する。
	エコ講座第2弾 エコ腹話術	上鳥羽保育園と連携し、園児や保護者にエコにまつわる腹話術を見てもらうことで、子どもたちに環境問題について興味を持ってもらい、各家庭での取組を考えるきっかけづくりを行う。
上鳥羽南部	上鳥羽春の地域交流フェスティバル	地域団体、利用団体、大学等、地域が一体となって連携し、上鳥羽地域の活性化を目指した交流フェスティバルを行うことで、センターの認知度も高める。
	いきいき夏祭り	利用団体、地域団体等の発表や模擬店、盆踊りなど、夏祭りを実施することにより、地域の交流の輪を広げ、地域コミュニティの活性化を図る。
	オータムミニコンサート &山ノ本児童館まつり	山ノ本児童館、近隣の保育所・中学校等と連携し、利用者や地域住民との交流を図るミニコンサートを開催する。

上島羽南部	フラワーアレンジメント&楽気(らっきー)クリスマス会	地域の活性化や交流の輪を広げるため、児童館や大学生と連携したクリスマス会や、センター利用団体によるフラワーアレンジメント体験講座等を開催する。
	ワイワイ・ガヤガヤふれあい広場	利用者や地域住民との交流を深めるとともに、センターの認知度を高め利用促進に繋げるため、利用者や地域団体、大学生等による演奏や発表会を行う「ふれあい広場」を開催する。
久世	いきセン利用者発表会	日頃センターを利用しているサークルや団体の発表会を行うことで、利用団体と地域との交流やセンターの周知に繋げる。
	いきいきサマーフェスタ(講座)	児童館と連携して、サマーフェスタを開催することで、地域交流・活性化に繋げるとともに、参加する親子同士の交流・親睦を深める。 ①ねんね講座, ②オリジナルハンカチを作ろう
	音楽鑑賞会	保育所と連携し、親子向けの音楽鑑賞会を開催することで、参加する親子同士の交流・親睦を深めるとともに、センターの周知に繋げる。
	クリスマス会	保育所や児童館と連携し、地域住民や利用者との交流・親睦を深め、センターの周知に繋げるため、クリスマス会を開催する。
	久世いきセン体験講座	センター利用団体の活動を体験講座として開放し、活動の活性化に繋げるとともに、センターの認知度を高め、利用促進に繋げる。 ①絵手紙教室, ②フラワーアレンジメント講座
	いきセン祭り	センター利用団体が実行委員となり、作品展示や体験講座、もちつき大会等を実施することで、利用団体の活動支援や交流・親睦に繋げる。
	ふれあいサロン祭り	高齢者ふれあいサロンで伝統芸能やマジックなど子どもから大人まで楽しめる事業を実施することにより、サロンの認知度を高め利用を促進するとともに、多世代交流に繋げる。
醍醐	京都おさんぽコレクション(久世・伏見いきセン編)	13センターが連携し、6つのコースを巡るまち歩き。 テーマ:「見る」「学ぶ」「食べる」ぶらりまちあるき 「見る」「学ぶ」「食べる」「歩く」をテーマに、神社仏閣や商店街を散策するまち歩き
	だいがトレジャーハンター～醍醐のお宝めぐり～醍醐・北醍醐編～	地域のお宝(資源)を知り、発信する「まち歩き」を開催することで地域の活性化に繋げる。また、包括支援センター等と連携することで健康維持や介護予防の意識啓発、歴史サークル等と連携することで活動の場を提供する。
醍醐	カフェするところ	高齢者ふれあいサロンを活用し、市民主体の様々なジャンルのカフェを開くことで、サロンを多世代交流の拠点とし、地域活性化に繋げる。 ①相談カフェ, ②はんなりカフェ, ③オレンジカフェ, ④音楽カフェ, ⑤ほっこりカフェ

醍醐	だいが生き活プロジェクト	「だいがサロン」の参加者から成る「だいが生き活プロジェクト」と連携し、地域に密着した「生き活マップ」の作成を通じて、地域コミュニティを考えるきっかけづくりを行う。
	わたしの第一歩	「だいがサロン」や醍醐支所との連携事業「おとなだいが塾」の参加者が、自ら事業を計画し実践する場を提供することで、地域活動への意識を高めてもらう。 ①健康教室, ②整理収納教室, ③パソコン教室, ④ストレッチ, ⑤笑いヨガ
	だいが写真部 「だいがAIR」	写真やアートを通じて、醍醐のまちを知るとともに、魅力的に発信する情報発信技術の向上を目指す。
	だいがトレジャーハンター～醍醐のお宝めぐり～醍醐・日野編～	地域のお宝（資源）を知り、発信する「まち歩き」を開催することで地域の活性化に繋げる。また、包括支援センター等と連携することで健康維持や介護予防の意識啓発、歴史サークル等と連携することで活動の場を提供する。
	だいがXmas 演芸会	センター利用者の日頃の活動の紹介や成果を披露する発表会を行うことで、団体支援や団体同士の意見交換、交流の場を創出するとともに、センターの周知にも繋げる。
伏見	市民活動団体の情報発信・交流事業	市民活動団体の情報収集・発信力を高めるため、センター内の情報発信コーナーの拡充や、講座、冊子作成などを行い、活動が更に発展するための整備を行う。 ①情報発信を考える会, ②伏見気になる数字ワークショップ, ③伏見のデータにまつわる冊子の作成
	子どもの居場所づくり事業	市民活動団体や学生、中学校等と連携し、地域課題の一つである「子どもの居場所づくり」を行う。 ①大学生と連携した自習室, ②子ども食堂, ③大学生や児童館等との連携イベント
	シニアの居場所づくり事業	市民グループや大学生と連携しながら「シニアの居場所づくり」を実施する。 ①参加者が主催して実施する「〇〇さんの日」事業, ②大学生がつくる居場所づくり
	若者の市民活動推進事業	若者層の市民活動への積極的な参加を促進する事業を実施する。 ①伏見地域について語り合う場づくり, ②カイケツ・テーブル（課題について気づき、学び、語らう場）, ③市民活動伴走サポート事業
	ガーデン、緑を活用した地域の緑化事業	利用者や地域ニーズが多い「剪定」に関する講座を行ったり、地域の繋がりを生み出すコミュニティガーデンを利用者ともに作る。